

人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業

令和5年度採択プログラム中間評価 現地調査実施要領

令和7年3月6日

人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業委員会決定

I 調査の概要

1 目的

現地調査は、独立行政法人日本学術振興会人文・社会科学系ネットワーク型大学院構築事業委員会（以下「委員会」という。）委員が当該採択プログラムを実施する大学のプログラム参加学生を含む関係者との質疑応答及び教育現場の視察等を行うことにより、当該採択プログラムの進捗状況等を確認し、評価に資することを目的とする。

2 実施主体

実施主体は、委員会とする。

3 実施方法

調査者が現地に赴き、採択プログラムより、書面評価に基づき事前に示す質問事項を中心に、評価項目に沿った採択プログラムの進捗状況の詳細等についての説明を受けるとともに、事業責任者等及びプログラム参加学生との意見交換並びに教育現場の視察を行う。

ただし、委員会の判断により、Web会議システムによる実施等、代替措置を以て行う場合がある。

4 参加者

[調査者]

- ・担当委員 ※他の委員も任意で参加可能。

[大学]

- ・全体責任者（学長や教育担当理事等）※必要に応じて同席
- ・事業責任者
- ・代表校及び連携校の事業担当者
- ・代表校及び連携校のプログラム参加学生 ※各大学から原則1名以上同席すること
- ・代表校及び連携校、連携先機関の関係教職員及び担当者等 ※必要に応じて同席
- ・当該プログラム事務局職員 ※必要に応じて同席

5 期間

1日（3時間半程度）

6 実施項目及び内容

① 事業責任者等からの説明（60分程度）

調査者は、事業責任者等から事前に提示した質問事項に対する回答を中心に評価項目

に沿ったプログラムの進捗状況の詳細の説明を受け、その内容を基に他の事業担当者等を交え質疑応答を行う。

- ② プログラム参加学生との意見交換（60分程度）
調査者は、プログラム参加学生との意見交換により、実際の教育研究活動の状況等を把握する。
- ③ 教育現場・施設等の視察（30分程度）
調査者は、プログラムからの説明を受けながら、教育現場等の視察をし、環境等の調査を行う。
- ④ 講評（10分程度）
調査者は、調査終了時に講評を行う。
- ⑤ その他、調査者が必要と判断する事項

II 現地調査スケジュール（例）

以下のスケジュールは一例であり、実際は調査内容等により異なる。

≪13時30分～16時30分が調査時間の場合≫

※各事項には移動時間も含む。

	事 項	所要時間
13:00	調査者、現地到着	-
13:00～13:20	打ち合わせ（調査者のみ）	20分
13:20～14:20	事業責任者等からの説明・質疑応答	60分
14:20～14:30	休憩	10分
14:30～15:30	プログラム参加学生との意見交換	60分
15:30～16:00	教育現場・施設等の視察	30分
16:00～16:20	打ち合わせ（調査者のみ）	20分
16:20～16:30	講評	10分
16:30	終了	-

III 調査実施後

- 1 調査者は、現地調査の結果をまとめ、別紙の報告書を作成し、委員会に報告する。
- 2 委員会は、現地調査によっても明らかにならなかった点、あるいは新たに生じた不明点等のために、必要に応じて書面による質疑応答を実施することができる。